

平成 30 年 5 月 2 日

平成 30 年 4 月 11 日未明に生じた耶馬溪斜面崩壊地現地調査実施の報告

平成 30 年 4 月 11 日未明、大分県中津市耶馬溪町で大規模な斜面崩壊が発生しました。この崩壊は、人、家屋、公共施設等々に甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方へ深い哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

公益社団法人地盤工学会は、平成 30 年 4 月 30 日、この斜面崩壊に対する現地調査を実施しました。本調査は、現在活動中の地盤工学会平成 29 年 7 月九州北部豪雨地盤災害調査団を中心とする調査チームにより、本災害に対する地盤工学的調査研究の緊急性、重要性等を確認することを目的としています。本調査結果については、とりまとめ次第、公表する予定です。

調査日：平成 30 年 4 月 30 日（月・祝）

調査メンバー：安福規之（九州大学）、三谷泰浩（九州大学）、工藤宗治（大分工業高等専門学校）、大嶺聖（長崎大学）、村上 哲（福岡大学）、池見洋明（九州大学）、矢ヶ部秀美（NPO 研究機構ジオセーフ）、濱田雅彦（基礎地盤コンサルタンツ（株））、佐藤静流（基礎地盤コンサルタンツ（株））、福田直三（復建調査設計（株））、半田義人（（株）ダイヤコンサルタント）、有留千博（（株）ダイヤコンサルタント）、吉村辰朗（明大工業（株））



写真 1 調査地全景



写真 2 調査風景



写真3 調査風景



写真4 調査風景



写真5 調査風景



写真6 調査風景



写真7 調査風景



写真8 調査風景

文：村上 哲（福岡大学）